＜認知症対応型共同生活介護用＞

評 価 結 果 報 告 書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
Ⅰ. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	2570101218
法人名	愛和ホーム株式会社
事業所名	グループホーム　愛和
訪問調査日	平成　21　年　8　月　21　日
評価確定日	平成　21　年　9　月　13　日
評価機関名	ニッポン・アクティブライフ・クラブ　ナルク滋賀福祉調査セン

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

［取り組みの事実］

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

［取り組みを期待したい項目］

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

［取り組みを期待したい内容］

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 ＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家　族 ＝家族に限定しています。

運営者 ＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員＝ 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム ＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

［認知症対応型共同生活介護用］

1. 評価結果概要表

作成日　平成21年9月14日

【評価実施概要】

事業所番号	2570101218
法人名	愛和ホーム株式会社
事業所名	グループホーム愛和
所在地	滋賀県大津市蓮池町13番10号 （電　話）077－521－0123

評価機関名	NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク滋賀福祉調査セ
所在地	滋賀県大津市和邇中浜432番地　平和堂和邇店　2階
訪問調査日	平成21年8月21日

【情報提供票より】（21年7月29日事業所記入）

（1）組織概要

開設年月日	平成　16　年　6　月　20　日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18　人
職員数	18　人	常勤　12 人，非常勤　6 人，常勤換算 14.8 人	

（2）建物概要

建物構造	重量鉄骨造り
	2階建ての　1 階 ～　2 階部分

（3）利用料金等（介護保険自己負担分を除く）

家賃（平均月額）	84,000　円		その他の経費（月額）	円
敷　金	有（　円）		無	
保証金の有無 （入居一時金含む）	○有（　360,000　円） 無		有りの場合 償却の有無	有／無
食材料費	朝食	350　円	昼食	550　円
	夕食	600　円	おやつ	含む　円
	または1日当たり　円			

（4）利用者の概要（7　月25　日現在）

利用者人数		18 名	男性　3 名	女性	15 名
要介護1		4　名	要介護2	2	名
要介護3		7　名	要介護4	4	名
要介護5		1　名	要支援2	0	名
年齢	平均	83 歳	最低　70　歳	最高	98 歳

（5）協力医療機関

協力医療機関名	小泉医院、光吉歯科

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

最寄り駅に近く、道路にも面していて交通至便の住宅地に立地している。開設以来一貫して「その人らしい暮らし、利用者の満足、家族の安心に応える」と言う理念のもと、運営者・管理者・職員が協働しているホームである。その成果が、提携医院、訪問看護ステーションの協力、職員の連携、独自のカルテ、経過記録によりホームでの看取り3名の実績を見るに至った。構築されたノウハウは,他の施設へも紹介されている。これらを支える背景には、運営者が管理者の方針を受け入れ、全面的に支援する姿勢で臨む一方、管理者の職員への信頼も欠かせない。職員による毎月の避難訓練、年2回の消防署の災害訓練も利用者の混乱はなく実施されている。職員の「楽しい職場です」との声が、全てを語っている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	**前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況（関連項目：外部4）** 昨年度の要改善項目は職員を育てる取り組みであった。これについては、先ず本人の自主性を尊重しつつ、段階に応じた外部研修を受講すると共に、内部研修についてはマニュアルを作成し年次計画の下、実務に生かすよう取り組んでいて、改善が見られた。 **今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4）** ユニットごとに全員で作成に参画し、各管理者が纏めており、夫々気づきが導き出されている。昨年指摘を受けた両ユニットで自己評価取り組み差の出ないよう最小限の職員移動を行い、ABユニット相方で勤務できる職員を養成し交流も行っている。
重点項目②	**運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6）** 運営推進会議の議題のメインの一つが、地域との交流を推進することであった。そこで自治会長の協力を得て、地域のお祭りや地蔵盆に参加し、地域文化祭へ利用者の作品も出品することが出来るようになった。
重点項目③	**家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8）** 苦情意見の投函はみられず、運営推進会議の家族代表の出席者も限定されているので、集約された家族の意見というまでには至っていないが、提起されたものはケアに反映させている。。
重点項目④	**日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）** 「愛和便り」を季刊発行し情報発信に努めている。ラーメン店の特別出店、中学生の職業体験等により利用者と地域の交流が進んで来た。車椅子外出サポーター、自家畑への作業ボランテイアが、利用者の希望を取り入れるためには必要となってきているので、自治会長、家族代表、民生委員に積極的な協力要請をし、地域への働きかけ進展が期待されている。

2. 評価結果（詳細）

（ ▭ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
Ⅰ．理念に基づく運営					
1．理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしい暮らし、利用者の満足、家族の安心、を追及します。地域密着型で暮らしたい家づくりをめざします。」と分り易い言葉で理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	[その人らしい暮らし]と言う理念を生かすにはどうするかを、夫々の利用者について、職員はカンファレンスを重ねケア方針を確認し合っている。ある利用者の場合には、外出が2時間に及ぶ事があるが、職員が付き添い行動し理念の実践に取り組んでいる。		
2．地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	季刊で「愛和だより」を発行し、情報発信に努めている。お祭りには3人の職員が御輿をかつぎ、それを楽しみに利用者も見物した。地域の文化祭へは利用者の習字を出品した。1階ユニットには近所の人が立ち寄るようになった。中学生職場体験実習は、ホーム開設以来受け入れている。		ボランテイアの受け入れを知らせる手段を「愛和だより」にとどまらず、運営推進会議メンバー,自治会へも働きかけて地域との交流機会を増やしてほしい。
3．理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全員で行う事により今まで気付かなかった事や、介護士としての姿勢を振り返ることが出来た。玄関には過去の自己評価表・外部評価表を置き、自由な閲覧が出来るようになっている。運営者は職員、管理者が自己評価に取り組んだことに応えて、改善への取り組みに全面的に支援の姿勢を明らかにしている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議は2ヶ月ごとに行い、取り組みを記録している。メンバーは、包括支援センター、自治会長、地域住民、家族代表2名（各ユニットより）、運営者、管理者で構成し、議題は、施設の活動報告、地域交流など検討している。その結果、地域行事への参加の機会が増えてきた。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域ケア会議、情報提供会に出席し情報交換に努めている。分らないことは市役所へ電話で問い合わせている。本年度から市の介護相談員も受け入れている。		
４．理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	［愛和通信］で行事や日常生活を月1回報告している。［往診通院のご報告］と言う便りを個々に文書で毎月報告、臨時の受診は家族の了解を得、場合によっては同伴してもらっている。利用者の1ヶ月の様子，金銭出納帳のコピーも毎月送付している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	推進会議の家族代表からは、率直な意見も出されており、運営に反映している。家族から部屋の清掃が十分でないとの意見が寄せられ、職員がより気を付けるようにしている。意見箱には投函はない。苦情受付担当者を明記するほか、公的機関窓口についても説明している。		敬老会、誕生会等魅力ある集まりにすることで家族の皆さんが参加され、より多くの声・意見を聴取出来る工夫を期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間の職員移動は、原則1名としている。状況に応じた両ユニット共有のスッタフを設けている。昨年度の退職は両ユニットで2名であったが、管理者は茶話会などを開くなど親睦の機会を増やしストレスの解消を図り、やりがいの共有に努めている。		
５．人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修にはマニアルを作成し実務に活かしている。職員の段階に応じた外部研修にも参加している。管理者は与える研修でなく本人の申し出を尊重して、研修に参加するよう努めている。		現在の研修体制に加えて、職員別の長期育成計画を立てられるよう希望したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	感染予防の内部研修に最寄りの施設職員を招き実施した。GH協会の交流会には積極的に参加している。本年5月に開催されたグループホーム全国大会にて、当施設での3人の看取り実績を管理者が発表を行っている。職員の相互訪問も行っている。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前に施設の見学で体感し、利用者とお茶を飲みながら話しあい、納得をして入所されるように努めている。管理者と職員は自宅に出かけてセンター方式で聞き取りしている。入所後は得意なことが出来るように職員が特に気くばりしている。		
2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者から野菜、味噌つくり、玄関の水打ち、窓辺にゴーヤを植えて夏の清涼感を醸し出している。若い職員は梅干、雑巾の作り方、体験談に驚いている。中学生の職場体験には子どもに教えて上げたと利用者のはずんだ声、輝いた目が見られた。		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1．一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族や本人からの生活歴を基に、また日常生活での言動、表情を観察し一人ひとりの希望、思いの把握に努めている。		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	入所の際、管理者が生活歴の把握に努めている。チームでのカンファレンスや主治医、訪問看護士からの意見を家族に伝え、相談のうえ介護計画を立てている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとに、介護計画を見直している。体調の変化時は家族に報告すると同時に、主治医の指示を仰ぎながら、家族とも相談しつつチームで介護方法を検討している。その内容は、家族の了解を得ている。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
３．多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制加算制度を導入しており利用者、家族とも安心である。開所日の愛犬同伴入居に対応し関係者の同意を得つつ、2匹の猫も加えてアニマルセラピーとして実施している。自宅への立ち寄り、お墓参りを支援したこともある。		
４．本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居当初はかかりつけ医に受診している方もあったが、提携医の定期往診の際、「自分も何で見てもらえないのか？」との利用者のアピールから、家族の方も同意されて、結果的には現在全て提携医一本に絞られることとなった。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時に家族とターミナルの確認をし記録を残している。職員皆で話し合いターミナル用の記録様式を使って、状況を毎日FAXで医師、看護師に報告して老衰の利用者を3名看取った。これらのノウハウは他の施設に紹介し、使用されるようになった。		
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 １．その人らしい暮らしの支援 （1）一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は可能な限り利用者の意志を大切にし排便の声かけ、誘導、に気を配っている。重度の利用者にはテーブルにハート型写真で席表示をするなど、職員の配慮が伺える。尊厳を守ることや個人情報保護については都度確認し徹底を図っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	夜遅くまでテレビを楽しむ人、音楽、習字、お花を生ける人、職員の見守りの中で楽しんでいる。行事、レクレーションへの参加は本人の希望を尊重している。買い物、外出に職員が付き添い見守りに努めている。		

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
（2）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	馴染みある箸、食器が使われている。季節の野菜を自家菜園で収穫し食卓での話題になっている。盛り合わせ、食事に十分な時間をかけ、あとかたずけをする人に活躍の場を提供するなど、職員の配慮が伺える。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には3日に1度の入浴となっている。希望により一番風呂の人、毎日入浴の人それぞれの希望が取り入れられている。自分の肌にあった石鹸使用の人など柔軟な対応が伺える。		
（3）その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	犬の散歩、買い物、野菜つくり、花を自分の部屋に飾る人、生け花・習字を楽しむ人、ビデオ体操をする人など個人の好みに合うよう、職員は支援を行っている。庭の菜園、花壇えは水やり、花のきりとり、野菜の収穫する姿が見られた。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩の希望者が多くあり、天候、体調を考慮しながら四季を通じて外出の機会を積極的に取り入れている。近隣への散歩、好みのお菓子を求める買い物など、個人の希望を聞き月1度の外出ツアーも設けている。		外出には車椅子、付き添いの人手が必要であり運営推進会議を通じてボランテイアを募集するなど、より安全な外出体制作りを期待したい。
（4）安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関には、防犯上止むを得ず昼でも家庭用の鍵1箇所施錠している。利用者は必要に応じて、開錠してポストに新聞を取りに行く人、表に出たいと思う人それぞれ自由に出ることができている。出入りについては、職員が常に気をつけて、必要な場合にはフォローして共に散歩を楽しんでいる。		人権研修の中で、鍵についても拘束の一種として正しく理解し、防犯上のため必要としたが、その弊害を除去する為の話し合いを今後も折々続けて行って欲しい。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月１日に日勤職員により地震・火災を想定した(風呂、台所から煙り)避難訓練を実施し感想や反省点を提出、記録を残している。年2回の消防署立会いの避難訓練は、出来るだけ多くの職員参加の下、実施している。利用者は訓練に慣れてパニックは見られない。施設には3日分の飲料水、食料を備蓄をしている。		災害時には職員の他、近隣住民の協力が必要であり運営推進会議を通じての協力が得られるような取り組みを期待する。

外部	自己	項　目	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	（○印）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
（5）その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	介護記録に食事・水分の摂取量を記録管理している。1人1500カロリーを目安に利用者の体調を考慮し調整している。行動範囲の広い男性には1日500Kcalをめやすに増量している。刻み、ミキサー食の対応もある。元職員の管理栄養士に教えられたものをベースに実施している。		
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり （1）居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関は門扉がなくバリヤフリーで入り易い。季節に合わせた飾りつけ、利用者の生け花を置き寛げる空間作りが伺える。1階、2階共に食堂、居間には広い窓から光が入り居心地の良い共用空間を作っている。利用者に連れられた来た犬に、猫も飼われ、アニマルセラピーとして利用者の癒しになっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族には利用者の馴染みの物をお願いし、居室には仏壇、ベッド、タンス、アルバム等を備えている。テーブル、椅子の持ち込みもあり利用者の馴染みを大切にした部屋つくりが伺える。		